



Q：健診で、便潜血検査が陽性でした（50代）

A：一般的に大腸がんのスクリーニング検査として便潜血検査の2日法が行なわれていきます。ただし、その陽性率は、進行がんの60～75%、早期がんの30～40%であり、1日分の検査ですと、さらに10～15%陽性率が低下するとされ、必ずしも陽性率の高い検査とは言えません。

裏を返すと、便潜血検査で引っかけられない大腸がんも多いということですが、他に陽性率の高い検査がないのが実情です。例えば、陽性率が高いとされる「CEA」という腫瘍マーカーでも、大腸がん

全体での陽性率は約50%くらいです。

便潜血検査は、1日でも陽性であれば、精密検査をすべきと考えられます。また、大腸がんからの出血は、間欠的なことも多いので、精密検査では便潜血検査の再検査はせず、大腸内視鏡検査によって行なうのが一般的です。

近年大腸がんは増加傾向にあり、部位別の死亡原因では、



大腸がんは男性では、肺がん、胃がんについて第3位、女性では第1位となっており、注意が必要です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801